

庄原市行政評価シート

平成 28 年度評価

事務事業名		ひろしまの森づくり事業(環境貢献林補助金)				
実施期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度 (終期の設定のない場合は、終期を空白)	所管課	林業振興課			
長期総合計画	02-01-02	さとやま資源の活用で地域が輝くまち(産業・交流)	農林水産業の振興	林業の振興		
予算科目	会計	01 一般会計	款	6 農林水産業	項	3 林業費
	目	02 林業振興費	事業	3808 林業費 ひろしまの森づくり事業		
対象者	森林組合、林業事業者等			対象者数など	市内全域の森林	
根拠法令・計画等	ひろしまの森づくり事業補助金等交付要綱(広島県)、庄原市森づくり事業補助金交付要綱					
HPアドレス	http://www.city.shobara.hiroshima.jp/industry/post-60.html					

実施目的	ひろしまの森づくり県民税を財源として、手入りが十分にされていない、人工林の間伐や里山林の整備を行い、森林の持つ公益的機能(水源かん養、土砂流出防止)を持続的に発揮させる。
事務事業の概要	<p>手入りが十分されず放置され、緊急に整備が必要な人工林(過去15年間に森林整備が行なわれていない人工林)について、森林の公益的機能を持続的に発揮させるため、環境貢献林整備として、間伐による人工林健全化や針広混交林への誘導等を実施する。</p> <p>○人工林対策 ・スギ・ヒノキの間伐等 補助率:定額(10/10)</p>

年度別実績概要	
平成 25 年度	平成25年度 事業費103,209千円 (森づくり事業全体 143,943千円) 人工林対策308ha(人工林健全化302.14ha、被害木処理5.9ha)、作業道整備1,215m
平成 26 年度	平成26年度 事業費100,601千円 (森づくり事業全体 143,106千円) 人工林対策339ha(人工林健全化333.58ha、被害木処理5.05ha)、作業道整備1,243m
平成 27 年度	平成27年度 事業費102,717千円 (森づくり事業全体 144,770千円) 人工林対策 366ha(人工林健全化362.63ha、被害木処理3.34ha)、作業道整備(補修含む)3,720m

実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 25	H 26	H 27	合計
	事業費	補助金	人工林対策補助金	103,209	100,601	102,717
						0
						0
		事業費計	103,209	100,601	102,717	306,527
財源	国県補助金		103,209	100,601	102,717	306,527
	地方債					0
	その他					0
	一般財源		0	0	0	0

実績 (アウトプット)	指標名称		単位	基準値	H 25	H 26	H 27	合計
	1	地域別実施箇所数	地区		7	7	7	21
2							0	
3							0	
成果 (アウトカム)	1	人工林間伐面積	ha		308	339	366	1,013
	2						0	
	3						0	
備考								

事務事業名	ひろしまの森づくり事業(環境貢献林補助金)	所管課	林業振興課
-------	-----------------------	-----	-------

評価項目		所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布			
分布は、A+1,B:0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA,Cに補正する					市民意見		評価委員会	
優先度		A	B'	A	分布	平均	分布	平均
A	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				3		5	
B	同じ分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				3		2	
C	同じ分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				0	1	0	1
認知度		B	B'	B	分布	平均	分布	平均
A	対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				0		1	
B	対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				3		6	
C	一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				3	-1	0	0
有効性		B	B	B	分布	平均	分布	平均
A	費用に対して、効果・成果が高い事業である。				2		0	
B	費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				3		6	
C	費用に対して、効果・成果が低い事業である。				1	0	0	0
受益者満足度		A	B'	A	分布	平均	分布	平均
A	受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				0		5	
B	どちらともいえない。				1		1	
C	受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				1	-1	0	1
市民(納税者)納得度		B	B'	B	分布	平均	分布	平均
A	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				2		1	
B	どちらともいえない。				2		5	
C	目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				0	1	0	0
代替性		B	B'	B	分布	平均	分布	平均
A	収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				3		1	
B	民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				2		6	
C	市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				1	0	0	0
まちづくり基本条例適合性		B	B	B	分布	平均	分布	平均
A	市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				1		1	
B	市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				3		6	
C	条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				2	0	0	0
所管課評価		現行どおり						
評価視点	ひろしまの森づくり事業が第2期最終年(5ヵ年を1期)を迎え、事業については財源である県民税の状況にもよるが、市域の84%を占める森林の整備を継続する必要があると考えるため、現行どおりとすることについて意見を求める。							
所管課が課題と考える内容	ひろしまの森づくり県民税を財源としているため、広く市民及び県民の理解を得る必要がある。森林所有者の理解に加え市民全体が森づくりの必要性(水源かん養、土砂流出防止などの公益的な機能)を理解するためのPRが必要と考える。							

事務事業名	ひろしまの森づくり事業(環境貢献林補助金)	所管課	林業振興課
-------	-----------------------	-----	-------

市民意見(プラモニ)		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。) ※全意見は、ホームページに掲載しています。				
意見数分布	現行どおり	拡 充	縮 小	終 了	その他の見直し	総回答数
	2	2	1	0	1	6
主な 意見	<p>【現行どおり】 山を手入れして自然を守るのは大切なことだと思います。 減災や花粉の飛散減少のために山の手入れは続けてほしいと思います。</p>					
	<p>【拡充】 事業があることが分からなかったです。林業従事者の後継者雇用や山林の健全化を維持していく目的においてはもっと積極的に推進していくべきだしその時期ではないでしょうか？(遅いくらいかもしれませんが) 間伐もされず、積雪時の倒木による被害などが自分たちのまわりではここ数年多くみられるようになってきていると思います。それから、関連性があるかどうかといことはありますが、おもな生活道である市道がおおっているところにも杉・檜の林は多くあります。山林を健全に維持していくことはまわりまわって自分達の生活のよしあしにもかかわってくるのではないのでしょうか。</p>					
	<p>【縮小】 山森林関係の予算や補助金は多くあるが、実績が見えない。</p>					
	<p>【その他事業見直し】 人工林は本来所有者が居られ、そこへ税金を投入して人工林の品質が上がった後の木材販売利益は県も受領できるのでしょうか？ 一般の森林所有者の個人的利益に繋がってしまうようでは、この制度は不公平だと考えます。 また、本当に森づくりを考えているのであれば、森を傷める杉やヒノキではなく自然に生えそろう雑木林を増やしていくべきではないでしょうか？</p>					

行政評価委員会評価 現行どおり	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
------------------------	------------------------------------

総括意見	<p>県内の森の公益的機能(土砂流出防止、水を蓄える、きれいな水を生み出す、空気をきれいにするなどの機能)を守るため、県民税を財源として市が元気な森づくりを行う取り組みは重要である。今後も継続した取り組みとするためには、森づくりの必要性を市民・県民が理解することが課題と考える。写真等で視覚に訴えるなど、PR方法を工夫し、森林の整備普及に向け取り組まれない。</p>
------	---

▲ ※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり 5	拡 充 1	縮 小	終 了	その他の見直し
------	------------	----------	-----	-----	---------

各委員の意見	<p>【現行どおり】</p> <p>②昨今、木材価格の低迷から、山林へ対しての関心が希薄となり、手入れをされてない山林(資料からすると人工林の35%)多くなっている。今後も拡大の傾向から、森林の荒廃もつながらる可能性があり、本事業は益々必要となっている。したがってこれまで通り事業を継続する必要がある。</p> <p>③・所管課の記載通り、森づくりの必要性を理解するため、もっと市民へのPRが必要と感じる。 ・普及率はどうか?</p> <p>④環境のこと、災害のことを考えると森林保全は重要だと思います。元気な森づくりの大切さ、必要性を市民・県民(特に若い世代)に理解してもらわなければならないと思います。若い世代の人が林業に関心を持ち、職業として携わる人が増えたらよいと思います。</p> <p>⑤森林を県民共有の財産ととらえた事業の意義は大きいと思います。必要な取り組みであるので、納税している人に事業内容や効果のPRを積極的に行うべきだと思います。</p> <p>⑦具体的にどの地域でどのようなことをして、どのようになったのか、ビフォー・アフターを写真等で視覚に訴える方法で市民に周知をはかるのはどうでしょうか。</p> <p>【拡充】</p> <p>①地球環境の異変が温暖化と結びついているといわれる中で、森林の持つ重要性の認知度はまだまだ低い現状である。森を守ることが地球環境を守ることに繋がることを多く住民に知ってもらうことは必要なことである。豊かな環境を守るため、県を挙げて取り組むことは重要・不可欠である。</p> <p>【その他】</p> <p>⑥評価は保留させていただきます。</p>
--------	--

今後の事業実施の方向性	現行どおり	
--------------------	--------------	--

詳細	<p>広島県も平成29年度以降の「ひろしまの森づくり県民税」の延長を検討しており、本市も事業PRを工夫しながら継続した森林整備に取り組む。</p>
----	---

備考	
----	--